



蒲郡文化

No.198

蒲郡市栄町3番30号

蒲郡市文化協会

TEL・FAX(0533)68-5509

URL <http://www.gamagorishibunkyo.jp>

E-mail g.bunka@lion.ocn.ne.jp

大衆文化施設

蒲郡水族館

館長 小林 龍二



水族館は大きなグループでは「博物館」のくくりに分類され、動物園・植物園・科学館等と同じ「自然科学博物館」というグループとして扱われています。このイメージや位置づけのためか、水族館は自然を守るためにか貴重な生き物を研究する場所、水族を学ぶ場所という要素が前面に出されることが多く、竹島水族館もこの流れに従って長年活動・運営をしてきました。

しかしながら、この運営方法では毎日水族館の館内を目にするお客さんの「反応」は良いとはいえず、むしろ楽しみの少ない水族館となり入館者数は毎年減る一方でした。考えてみればそれはそのはずで、水族館に来るお客さんの大部分は「楽しみに来ている」からで「勉強しに来ているわけではない」のです。

そのようなことに気が付き、私は20日間ほど水族館の中でお客さんと話をしたり水槽を見るお客さんの様子や話をしている内容を盗み聞きしたりする特別調査をしました。その結果、20日間のうち「勉強をしに」竹島水族館を訪れたお客さんは1名のみで、その内容は「フグの調理資格免許を取るためフグの種類が見てわかるように勉強に来た」という方だけでした。他の大勢のお客さん

は水族館で楽しむことを目的に来ていたのです。この結果を受けて、竹島水族館は「学習する場所」から「水族を見て楽しむ場所」へと改革を始めました。しかしながら、周りの自然は無くなる一方ですし、生き物の知識が薄くなっている世の中であるので、ただ楽しむだけの場所ではなく、何かを感じたり心に残るものもの提供を考えました。その結果行きついたのは学習施設ではなく「文化施設」です。

水族を見ることで何かを感じたり、思ったり、一緒に来た人といろいろな話をしたり、あるいは飼育員と交流したり、といった様々な知的好奇心をくすぐる「学習以外の文化的学習(生涯学習)」を重視して運営を考えつぐに至り、スタッフの知恵を絞った試行錯誤によって入館者は非常に多くなり楽しい水族館へと変身しました。

ただ単に学習する場所では学習したい人だけに求められる狭い門の施設となります。これを多くの方が楽しめて学び感じることができるよう「大衆文化施設」にすることによって施設がより多くの方に求められ活躍することができます。



平成27年度 文協表彰紹介

4月25日の総会において次の4名の方と1団体が表彰されました。

《文化賞》

木村君多香 【邦楽部会】



【略歴】
花柳流師範、民謡木村流師範。昭和53年蒲郡民謡会発足。

《文化賞》

小田 静生 【俳句部会】



【略歴】
俳誌「三河」鈴木煙浪主宰下に入会。文協40周年のおりには実行委員長を務める。

《功労賞》

伊藤 伸 【短歌部会】



【略歴】
文化協会発足当時から会員。また、俊成短歌大会の撰者を務める。

《功労賞》

杉浦 才 【工芸部会】



【略歴】
昭和48年文化協会入会
陶芸活動においては、県美術展入選。

《功労賞》

蒲郡ぞう親子うたう会みかん 【洋楽部会】



【略歴】
平成11年（1999）年設立。
創作曲「とどけみかんのうた」が日本のうたごえ祭典に選ばれる。



表彰式

総会記念公演

J A レディース大正琴 土曜教室
土曜教室は、ソプラノ・アルト・テナー・ベースの大正琴アンサンブルです。今回は、9名による「なみだ恋」「アメリカ橋」「君は心の妻だから」を演奏していただきました。



〈平成26年度〉 事業報告および収支決算報告

- ・春の文協まつり 4月29日(火)～5月25日(日)
- ・文協講座「華道」「詩吟」「大正琴」「ちぎり絵」の4講座
- ・市民文化祭 10月31日(金)～11月23日(日)・文化財めぐり11月19日(木)
- ・機関紙「蒲郡文化」を4回発行 1月15日、4月15日、7月15日、10月15日
- ・市民会館・市民病院のギャラリー・市役所玄関生け花展示
- ・文化事業 27年2月22日(日)倍賞千恵子「朗読と講演」
- ・県文連芸能大会(東三河部) 9月7日(日)豊川市で開催 舞踊部会出演
- ・県文連美術展 9月30日(火)～10月5日(日)愛知県美術館ギャラリーで開催
- ・愛知県民茶会 11月23日(日)みよし市で開催

【収入の部】

【支出の部】

| 項目 | 収入額(円) | 説明 | 項目 | 支出額(円) | 説明 |
|---------|-----------|--|--------|-----------|--|
| 1. 繰越金 | 365,124 | 前年度繰越金 | 1. 会議費 | 118,771 | 総会費、役員会費、その他会議費 |
| 2. 会費 | 2,777,500 | 正会員 1,000円×2,070名 18歳未満会員 300円×125名 特別会員 5,000円×134名 | 2. 事務費 | 2,582,720 | 事務局費、旅費、印刷費、消耗品費、 通信連絡費、備品費、慶弔費、負担金 |
| 3. 事業収入 | 2,249,300 | 講座参加費、楠若葉投稿料 文化財めぐり、県美術展出品料 文化事業入場料 | 3. 事業費 | 5,077,020 | 機関紙発行費、催事費、文化事業費、 文化振興費、事業奨励費 |
| 4. 補助金 | 1,542,038 | 蒲郡市 | 4. 予備費 | 0 | |
| 5. 負担金 | 1,500,000 | 市民文化祭、芸能大会 | 5. 積立金 | 340,000 | 周年事業、交流事業 職員退職金、文化事業 |
| 6. 雑収入 | 31,426 | 利息、楠若葉売上等 | 6. 残高 | 346,877 | 次年度へ繰越 |
| 収入合計 | 8,465,388 | | 支出合計 | 8,465,388 | |

〈平成27年度〉 事業計画および収支予算

- ・春の文協まつり 4月29日(火)～5月31日(日)
- ・文協講座「絵画」「水墨画」「俳句」「工芸」「書道」の5講座
- ・市民文化祭 10月31日(土)～11月23日(月)・文化財めぐり11月19日(木)
- ・機関紙「蒲郡文化」を4回発行 1月15日、4月15日、7月15日、10月15日
- ・市民会館・市民病院のギャラリー・市役所玄関生け花展示
- ・文化事業 28年2月28日(日)
- ・県文連芸能大会(東三河部) 7月5日(日)豊橋市で開催
- ・県文連美術展 9月29日(火)～10月4日(日)愛知県美術館ギャラリーで開催
- ・愛知県民茶会 10月18日(日)扶桑町で開催

【収入の部】

【支出の部】

| 項目 | 収入額(円) | 説明 | 項目 | 支出額(円) | 説明 |
|---------|-----------|--|--------|-----------|---|
| 1. 繰越金 | 646,877 | 前年度繰越金、 蒲添市文化協会交流積立金 | 1. 会議費 | 120,000 | 総会費、役員会費 その他会議費 |
| 2. 会費 | 2,590,000 | 正会員 1,000円×1,851名 18歳未満会員 300円×130名 特別会員 5,000円×140名 | 2. 事務費 | 2,540,000 | 事務局費、旅費、印刷費、消耗品費、 通信連絡費、備品費、慶弔費、負担金 |
| 3. 事業収入 | 1,755,000 | 講座参加費、楠若葉投稿料 文化財めぐり、県美術展出品料 文化事業入場料 | 3. 事業費 | 4,693,000 | 機関紙発行費、催事費、県文連事業費、 文化事業費、文化交流費、 文化振興費、事業奨励費 |
| 4. 補助金 | 1,100,000 | 蒲郡市 | 4. 予備費 | 107,000 | |
| 5. 負担金 | 1,500,000 | 市民文化祭 | 5. 積立金 | 140,000 | 周年事業、職員退職金 蒲添市文化協会交流 |
| 6. 雑収入 | 8,123 | 利息等 | | | |
| 収入合計 | 7,600,000 | | 支出合計 | 7,600,000 | |

安達藤九郎盛長の五輪塔

五井町の長泉寺に三河国初代の守護であった安達藤九郎盛長の五輪塔（高さ一三〇センチ）が祀られている。

安達藤九郎は、鎌倉政権の初期に源頼朝より三河国の守護に任命された重臣で、吾妻鏡によると、その任期は建久五年（一一九四）から正治元年（一一九九）の頃である。

神仏の崇拜が厚く、頼朝の指示により三河各地の神社の復興・造営に努め、特に江戸時代の安永四年（一七七五）に著した「三河刪補松卷之上」によると「三河七御堂」の建立に安達藤九郎が尽くしたことが記されている。

- 金蓮寺阿弥陀堂（西尾市吉良）
 - 赤岩山法言寺（豊橋市多米）
 - 普門寺観音堂（豊橋市雲谷）
 - 財賀寺観音堂（豊川市財賀）
 - 鳳来寺（新城市門谷）
 - 長泉寺（蒲郡市五井）
 - 全福寺（廃寺）（蒲郡市大塚）
- 五輪塔は、平安後期から供養塔として建てられ、下から方形（地）円形（水）三角形（火）半月形（風）団形（空）となっている。



長泉寺の開創は、八世紀中頃と伝えられている。「正治二年（一一二〇）」に安達藤九郎盛長によって整備されたが、応仁の乱で焼失したが五井松平二代の長勝によって修復した」と記録されており、五井松平家初代から五代までの領主の五輪塔が祀られている。

五井の八幡社（祭神・菅田別尊（ほんだわけのみこと）は長泉寺の隣にある。安達藤九郎が建久三年（一一九〇）に社殿を再興したと伝えられている。

この八幡社には「チンチン石」が祀られており、この石は、「金運授与の神妙なり。この石の神眺（しんこう）なる音を聴きたる者は百金を得る」と伝えられおり、金属製の硬い音を聴いた五井村民には金持ちが多いと言われている。（林 正夫）

平成 27・28 年度の役員・運営委員さんです。よろしくお願ひします。（○印は新任）

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-----------------------|---------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|--------------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|-------------|---|
| ポスター委員 ○市川 勝代 早川 栄司 横田 英夫 池田とく子 小田 勝 ○杉田 翠風 | 編集委員 鈴木 伊昭 鈴木 美耶子 松本 守雄 木村 君多香 鈴木 伊昭 鈴木 美耶子 松本 守雄 木村 君多香 | 監事 松本 守雄 木村 君多香 | 洋楽 西浦 稔 近藤 恭子 | 舞踊 西川佳ふ久 三喜 藤菊 | 邦楽 ○佐野 哲子 永島 満誇 | 謡曲 近藤 精一 杉浦 弘保 | 箏曲 稲石 徳子 仲田 武司 | 吟剣詩舞 ○山中 昇治 ○田中 章子 | 茶道 鈴木 博翠 中野 宗恵 | 菊花道 羽田喜久司 河井 宏幸 | 華芸 ○竹内 政雲 松井 晨翠 | 工芸 杉浦 才 近藤 佐代子 | 水石 ○平岩 尚文 近藤 昭吾 | 盆裁 小田 吾一 宇佐美 賢 | 写真 安部 正和 上林 俱文 | 書道 ○吉見 房夫 尾崎 隆 | 水墨画 壁谷 禮伺 小林 貞次 | 俳句 壁谷 禮伺 小林 貞次 | 短歌 ○伊藤 伸 加藤 芙美代 | 会長 金原 久雄 | 副会長 中村 達（文芸・教養部門） 小林 憲三（美術部門） 平田 正文（舞踊・音楽部門） |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成三十七年度 春の文協まつり

第三十回蒲郡俊成短歌大会

俳句大会

愛知県知事賞 山本令子【日進市】

蒲郡市長賞 宮瀬 玉泉

千年のまへにも野辺にしたやうな
掌を差し出して雨を確かむ

千枚を竹樋でつなぐ田植水

蒲郡市長賞 石田聖菜【日進市】

蒲郡市議会議長賞 神尾 朴水

日だまりはココアみたいなたたかき

ほととぎす朝の棚田の水光る

県教育委員会賞 徳永逸夫【高知県】

蒲郡市教育委員会賞 平野 京子

軒下に手拭きのごとく烏賊干して

背負い投げ決まり素足の宙をまう

昼の札所に人影見えす

夏つばめ沖の潮目の弧をながく

中日新聞社賞 皆川幸子【青森県】

中日新聞社賞 安藤 幸子

転出者増えゆく町に今年また

英霊へ祈りの深し昭和の日

中部日本歌人会賞 佐藤志乃【群馬県】

中日新聞社賞 小田八千代

茶の花が咲いたと母の便り来る

針ほどの目高を掬う腕まくり

麻痺の手で書く文字の乱れて

蒲郡新聞社賞 内田 陽子

市教育委員会賞 横山美保子【飛騨市】

奥能登の漁火ひとつ春逝けり

八十年あつというま問と母の言う

蒲郡新聞社賞 柴田 雅年

市文化協会賞 中島 澈【土岐市】

よう来たと筍飯のてんこ盛り

フアクシミリ届きてそこに唐突な

高得点 内田 陽子

別れがあるを知らざる朝

富士晴れて乾ききつたる桜えび

市内選者賞 鈴木美耶子

立川 美子

市内入選 田中孝和

黒光る千木の紋章ほととぎす

市内奨励賞 中村文子

金澤 房子

加藤美美代 夏目富美子

鍵外し八十八夜の農具小屋

太田文子 酒井かよ

母の日や吾より若き夢の母

鈴木哲朗

順子

文化の継承

「生け花の心」 杉浦 英鳳

昭和六十年に四代目を継承して三十年過ぎました。

私も天生流の創流は、昭和十六年、豊橋の河島玉芳によります。自然の枝の姿を生かした「文人花」を得意とし受け継がれております。

昭和四十年、二代目を継承した中神瑞鳳より、蒲郡を拠点とし、文化協会華道部門の前身である西宝華道文化協会の発足やオール愛知華道連盟の創設にも関わる等、生け花文化の隆生に心を尽くしました。文人花を発展させた大作（幅・奥行四メートル、高さ三メートル）を得意とし、天生流の新たな顔となりました。

昭和五十四年に三代目を継承した豊橋の藤原玉山は、竹を好み、色付けをして朱竹も生けました。

現在の天生流は、伝統的な和風の作品を大切にしつつも時代の流れと文化の変様、特に居住スタイルの変化に適應した洋風、和洋折衷の作品も多く生けられるようになりました。しかし、初代の「文人花」を生

かして、一枝一花がすべて自然の中で本来あるべき姿のように生ける。「花が悦んでいるように生ける」のが私どもの生け花です。一輪の茶花から大作に至るまで、個性を見極め適材適所に生かしていく。

生け花は、花の命をいただいて成り立ちます。その命が輝くような作品を生けること。この精神は、これからの生け花に於いては、変わらぬ心だと思えます。

若い世代に生け花文化をどのように伝えていくか。文化の伝承は華道に限らず難しい課題です。私どもは、変わらぬ心で本物の作品を生け、多くの方の心の目に訴えていく、これをこれからも誠心誠意続けていきたい所存でございます。



二代目 中神瑞鳳 作品

まつり

博物館ギャラリー会場



写真展

5月8日～10日
出品点数 60点



絵画展

5月22日～24日
出品点数 61点



水墨画展

5月15日～17日
出品点数 68点



雅楽



民謡



和太鼓



三味線



詩吟

芸能発表会

(中ホール) 5月17日

吟剣詩舞・謡曲・邦楽・舞踊の各部会あわせて327名の方々が出演。日頃のお稽古の成果を披露していただき、観客の方も多く、華やかなステージとなりました。



まつり



舞踊



大正琴



謡曲

春の文協



華道展 (東ホール)

5月16・17日
出品点数 76点

合同展示になり、壁面のスペースが不足し作品の間隔が狭く、役員さんたちが大変苦勞して飾り付けをして頂いていますが、バラエティーにとんだ展示となり多くの人たちに見に来ていただきとても好評であった。 参観者数 746名

市民会館会場



書道・工芸展 (東ホール)

5月22日～24日
出品点数 書道 130点 工芸 135点



盆栽展 (大会議室)

5月16・17日
出品点数 23点



水石展 (中会議室)

5月16・17日
出品点数 30点

皐月展 (大会議室)

5月23・24日
出品点数 33点



ふれあい茶会 5月24日

今回は、茶室を使わず二階の三会場でそれぞれの流派の方が趣向を凝らした席にして頂いた。多くの方に来ていただき、着物を着た人たちも多く華やいだ会場となった。

宗徧流 会議室1
裏千家 会議室2
表千家 会議室3



退任のご挨拶

新任のご挨拶

前副会長 木村君多香

副会長という大役を戴いて六年、皆様方のお陰にて無事任期を終了する事が出来、心より厚く御礼申し上げます。

春、秋のステージに、県文連・県民茶会・浦添交流・協会40周年記念等、文協事業に参加出来、語り合い、学ばせて戴いた感動の思い出は、私の財産となっております。

御指導下さいました皆様へ感謝申し上げ、協会に益々の発展を祈念し、御礼のご挨拶とさせていただきます。



文芸・教養部門

副会長 中村 達

高齢化社会のいま、魅力ある文化協会にするため「創造力」と「想像力」の必要性を提案します。

高齢の経験と知恵を基に、二つの力を発揮すれば、文化協会は発展することでしよう。

新副会長として、尽力致します。

美術部門

副会長 小林 憲三

このたび、美術部門の副会長を受けることになりました。文化協会も会員の減少・高齢化と問題をかかえておりますが、蒲郡の文化向上のため頑張っていきたいと思っております。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

歌・句集「楠若葉34」投稿募集

【投稿規定】 一人5首または5句

用紙は、文協事務局・各公民館にあります。

【投稿料】 500円(1冊配本)

【締切】 7月31日(金) 【申込】文協事務局へ

文化財めぐり参加者募集

【行先】 奈良(正暦寺・當麻寺)

【日時】 11月19日(木)

【会費】 8,000円(拝観料・弁当代含む)

【締切】 10月15日(木)往復はがきにて申込み

図書館の催し物 (問合せ TEL69-3706)

| | |
|-----------------------------|-----------------------|
| アルミホイルが大変身! 箔屋スフィカの世界展パート2 | 7月11日(土) ~ 26日(日) |
| 英文多読講演会 | 7月26日(日) 14時 ~ 15時30分 |
| ひとり読み語りしばい『父と暮らせば』 | 8月1日(土) 13時30分 ~ 15時 |
| 本のリサイクル | 8月1日(土) ~ 6日(木) |
| 図書館まつり <子ども教室>アルミホイルであそぼう♪ | 8月2日(日) 13時30分 ~ 15時 |
| <mini展示>インディアンフルーツ紹介 | 8月18日(火) ~ 26日(水) |
| 戦後70周年記念展示 戦時下の暮らしと戦後復興のあゆみ | 8月9日(日) ~ 26日(水) |
| 蒲郡の観光展 | 8月29日(土) ~ 9月9日(水) |
| 交通安全ポスター展 | 9月12日(土) ~ 20日(日) |
| 内藤勲の似顔絵ッセイ展 パート21 | 10月1日(木) ~ 18日(日) |

博物館の催し物 (問合せ TEL68-1881)

| | |
|---|---------------------|
| 福山すすむ生誕100周年記念展 | 8月6日(木) ~ 9日(日) |
| 第7回現代水墨画合同墨彩画展 | 9月4日(金) ~ 6日(日) |
| 木彫「遊刻倶楽部」作品展 | 9月10日(木) ~ 13日(日) |
| 戦後70周年コーナー展示「戦地からの手紙」 | 7月18日(土) ~ 8月30日(日) |
| 企画展徳川家康没後400周年記念企画展 「天桂院の文化財 -竹谷松平家の歴史-」 | 8月1日(土) ~ 30日(日) |

市民会館の催し物 (問合せ TEL67-5151)

| | |
|-------------------------------------|---------------------|
| “戦争はやっちゃあいかん”の思いを伝える「私の戦争体験」を読み・語る会 | 8月15日(土) 13時30分~16時 |
| 邦楽コンサートひびvol.7 | 8月30日(日) |
| 第66回形象派夏季デッサン大学 | 9月6日(日) ~ 9日(水) |
| 第49回硯山書院一門展 | 9月12日(土)・13日(日) |
| 月例茶会 鈴木 博翠(薫風流) | 9月27日(日) |
| 鈴木 宗艶(裏千家) | 10月4日(日) |
| その他の会場の催し物 竹風会水墨画(豊川市桜ヶ丘ミュージアム) | 8月18日(火)~23日(日) |